

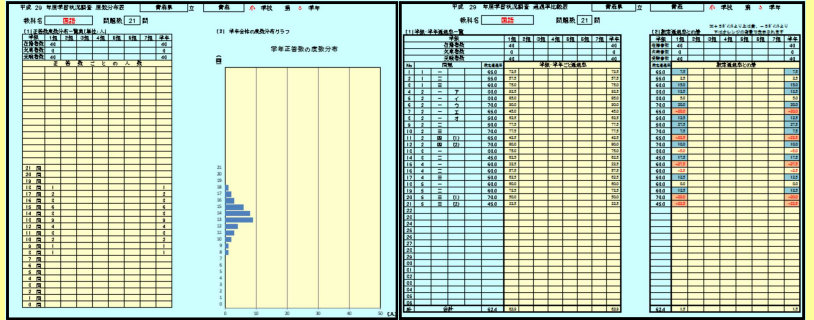
～児童生徒の「確かな学力」の向上のために授業改善を～

学習状況調査及び報告書の活用について

「授業改善をよりよく推進するために」

各校に配布している集計表には、「**度数分布**」と「**自校の結果と設定通過率や県通過率の比較**」のシートが付いています。自校の結果を入力すると自動計算されます（県の平均通過率は入力する必要があります）。

シートを活用して設問ごとの通過率を基に、授業改善のための自校の課題について検証するなど、分析ツールとしてお役立てください。



「報告書には授業改善のための指導例があります」

報告書には、各教科の分析結果や、そこから見えてきた課題に加え、課題解決のための指導例を各教科とも2例掲載しています。この指導例は**課題解決のため**だけではなく、新学習指導要領で示されている「**主体的・対話的で深い学び**」の視点による**授業改善**を意識したものとなっています。各教科での活用はもちろん、校内研修等で共有を図るなど多様な方法での活用が考えられます。そのためにも、**ダウンロードして、すぐに活用できる**ようにしてはいかがでしょうか。

3 「しようかい文」を伝える相手を決め、最も興味をもったところを中心に、文章などを引用したり要約したりして内容をまとめさせる。

学習活動① 筆者の体験や考え方、伝えたいことについて、興味をもったところから必要（紹介する相手）に応じて引用したり要約したりして、自分の考えを文章にまとめる。

低学年に紹介したいから、短くて分かりやすい文に要約しよう。一目で分かる地図をのせて、それに関連のある文を引用しよう。

家族に紹介したいな。とても長い年月がかかる調査だということや、筆者の熱意が伝わるような文を引用しよう。

学習活動② まとめた文章を基に、紹介し合う。（ペア又はグループ）

ポイント 目的や必要に応じて、興味をもったところから文章などを引用したり要約したりすることで、筆者の考え方や伝えたいことに対する自分の考えをまとめさせ、話し合わせる。

2 縮尺を基に距離を調べさせる。

学習活動 縮尺を基に、2地点間の距離を測る。

「好きな駅を2つ選んで、学校から歩いて行けるのかな？」

「どうやって行けばいいんだろ？」

「好きな駅に行くには、学校を出て北に向かうといいわ。」

距離が分からないけれど、地図にこのような「ものさし」みたいなものがあるよ。手ばかりになりそうだね。

それは、地図上の2つの地点の距離を測るときに使う地図の「ものさし」です。地図上の1cmが何mを表しているか分かります。この場合は、1cmは100mにあたります。

学校から風力発電の風車までは、地図では5cmあるから、地図の「ものさし」を使うと、

1cmは100mだから、5cmは500mだね。

地図上で実際の距離も調べられるんだね。これから、地図でいろいろな町を調べるときに、どれくらいの距離があるのか、分かるんだね。

ポイント 縮尺した地図上の2つの地点の距離を調べさせる必要感をもち、教科書（地図帳）を基に縮尺の基本を押さえ、コンパスや定規を使用して長さを測り、地図の「ものさし」を活用して実際の距離の求め方を身に付けさせる。

指導例

見取図や展開図を用いて、筋道立てて説明することを通して、論理的に考察し表現する力を養う指導

～単元名「空間図形」～

【指導の流れ】

1 円錐の側面積の求め方を既習事項を基に考えさせる。

学習活動 円錐の側面積の求め方を既習事項を基に考える。

問題 この円錐の側面積を求めよう。

見取図

展開図

「この円錐の側面積はどんな形になるでしょうか？」

「展開図をかくと、おうぎ形になります。」

「おうぎ形の面積を求めるには、中心角が必要だね。」

ポイント 見取図や展開図を用いて、既習事項を基に筋道立てて考えられるような学習過程を工夫する。また、主体的な学びとするために、解決の見通しをもたせる。

報告書は県教育委員会のホームページからダウンロードできます。
掲載先は<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/jyoukyouchousa.html>です。
指導例は県総合学校教育センターのホームページからもダウンロード可能です。

「各学校ではこんな活用をしています」

調査や報告書の活用工夫に取り組んでいる学校があります。自校では、**どのような取組が有効か組織的に検討し**、できることから取り組んでみませんか。

以下は平成30年度に実施した学習状況調査の活用アンケートの回答からです。（原文のまま掲載）

【小学校】

- ・他教科との関連を図った指導を心がけ、学力の定着に努めている。
- ・全職員に報告書のコピーを配布するとともに、本校と県、地区の通過率を比較した表、グラフを提示し、全職員で共通理解を図った。
- ・報告書に掲載されている指導例を参考にしながら、各担任が工夫して「読み取る力」＋「資料を関連付けたり比較したりする力」の向上を図った。

【中学校】

- ・各教科による結果分析に基づき、出題のねらい等の把握を行い、授業改善につなげることができた。
- ・各教科で通過率の高い項目と低い項目を拾い出し、その原因と改善に向けた具体的な取組を分析したことで、その後の指導方法の改善に役立てることができた。
- ・意図的、計画的、継続的に「協動的な活動」や「交流的な活動」を設定することにより、生徒が主体的かつ積極的に授業に取り組むようになった。